研 究 者：谷口健太郎，田中らいら（東京歯科大学歯学部国際医療研究会）

研究題目：歯学部生のボルネオ・スタディーツアー

目　的：

アジアの国々には，それぞれ固有の歴史，風土，文化があり，保健政策もさまざまである。日本は，医療保険制度が整い，病院や診療所の数も多く，予防制度も充実しており，世界でも屈指の長寿国となっている。またその背景には，戦後の安定した政治体制や経済発展，充実した教育制度（就学率の高さ）が大きく影響している。

今回のスタディーツアーでは，日本の歯科学生がボルネオの人々の生活に触れ，保健医療の現状を見聞し，さらには小児を対象とした保健活動を実施することによって日本との違いを学び，今後の日本の歯科医療を考えることを目的とした。

対象および方法：

対　象：日本の歯科学生 8 名（東京歯科大学 6 名，神奈川歯科大学 2 名）
日　程：2011 年 3 月 20 日（日）～3 月 25 日（金）
場　所：マレーシア・サラワク州クチン（ボルネオ島）
内　容：サラワク州保健省にて，担当官によるサラワク州の公衆衛生に関する講義
セントトーマス幼稚園にて，幼児の歯科健診と歯科保健活動（紙芝居にブラッシング指導）。
サラワク州立病院施設の見学（コタ・セントーサ歯科クリニック，モスクロード歯科クリニックの，サラワク総合病院）
水道水フロリデーションの見学（バトゥー・キタン水道施設）
小学校のモバイルクリニックとスクールデンタルクリニックの見学
先住民族と植林活動（サバル森林保護地区）
野生動物の保全活動，半野生のオランウータンの餌付けの見学。（セメンゴ野生動物センター）

結果および考察：

●公衆衛生

・学校歯科

生徒数の少ない学校にはモバイル歯科チームが定期的に赴いている。この歯科チームは歯科検診と歯科治療（充填や抜歯）を行い，ブラッシング指導や歯科保健指導を行っている。このチームの移動手段には場所によって，Land（マイクロバス）や River（ボート）が使われており，社会背景に適した形で歯科診療が行われているようだった。場合によっては，ブラッシング以外にも，灰での歯磨きの指導も行っているようだった。

また，サラワク州で 10％の学校に常設の歯科クリニックが併設されている。小学校にはデン

タルナース，中学・高校には歯科医師がいる。デンタルナースはポストの 90％が充足しているのに対し，歯科医師のポストは 50％しか埋まっていない。私立の歯科医院に比べて，公立の給料は非常に低いためである。そのため，中学・高校では，小学校に比べて口腔保健ケアが行きとどいていないようだった。

連邦や州などが様々なコンペティッションを開いて，保健指導において優秀な成績を収めた人達（歯科医師やデンタルナース）を表彰しているようだ。日本ではあまり馴染みのないシステムである。しかし，表彰されることはとても名誉なことであり，それを目指して皆が努力しているようだった。

・水道水フロリデーション

マレーシアでは 13 州のうち，サバ州をのぞくすべての州で水道水へのフッ素添加を行っている。サラワク州でもすべての水道水にフッ化物の添加がされており，70％の区域にその水道が通っている。地方の水道の通っていない地区の小学校では，歯科巡回チームによるフッ素洗口が行われている。

近年，多くのマレーシア人がミネラルウォーターを飲むようになり，水道水を飲む人は減っているとのこと。浄水場で清潔な水を提供しても，各家庭までの水道管に不備があれば水は清潔でなくなり，人々は水道水を飲まなくなる。また，フッ化物配合歯磨剤が普及しはじめ，水道水へのフッ素添加の必要性は疑問があるとのことだった。水道水フロリデ―ションについては国の文化，習慣と政府の政策と関わっている。

●幼稚園で歯科検診

園児たちは，虫歯がない子や虫歯の治療した子は少なかった。多くの園児は虫歯を持ち，前歯の上下 12 本すべてが残根状態の園児もいた。

マレーシアには日本のような保健制度はなく，歯科治療の費用は患者が全額負担する。私立のクリニックは治療費が高く，治療費の安い州立病院の予約は 2～3ヶ月待ちとのことだった。将来生え変わる，乳歯の虫歯は軽視される傾向があり，乳歯の虫歯は放置されがちとのこと。年に 1 回，モバイル歯科チームが検診と治療に来るが，デンタルナース 2 人が 1 日で 250 人ほどの園児の治療を行うことは実際困難である。またモバイル歯科チームの訪問は 1 週間前や前日に知らされるため，歯科保健活動に園児の保護者が参加することが難しく保護者の意識の改善につながりにくいとのことだった。少なくとも定期的に決まった日に，親，子供に歯科検診，教育を行い虫歯への意識を高めていくのが必要ではないだろうか。

また，口腔衛生状態と園児の人種には関係があるようだった。マレーシアはマレー系，中華系，インド系の多民族国家であるが，ボルネオ島にはさらにイバン族やビダユ族など多くの先住民族が暮らしている。例えば，中華系の家庭は経済的にも恵まれており，親の歯科に対する意識も高く子供の口腔状態も良好な場合が多い。また，マレー系の人たちは中華系に比べ砂糖の消費量が多く，虫歯も多いようだった。

●病院見学

マレーシアにおいて，歯科は医科と同じくらい政治への介入がある。そのため，歯科に対して

政府からの手厚い援助により，病院の設備は日本のごく一般的なクリニックより圧倒的に優れていた。そのため，口腔保健活動も盛んに行われていた。日本も歯科の分野の政治的介入がもっとできれば，より歯科保健活動が進み，社会保険の点数も見直され歯科医師が働きやすく，歯科の疾患が減る社会が作れるのではないか。

成果発表：（予定を含めて口頭発表，学術雑誌など）

歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）総会での口頭発表
東京歯科大学広報原稿投稿
神奈川歯科大学広報原稿投稿
東歯祭（東京歯科大学学園祭）展示発表
稲岡祭（神奈川歯科大学学園祭）展示発表


幼稚園にライオンの歯ブラシ 100 本を寄付した


紙芝居による保健教育


水道水へのフッ化物添加施設



モスクロード歯科クリニック



コタセントータ歯科クリニック


植林活動の様子